

平成29年度

# 事業報告

(及び附属明細書)

社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団

# 目 次

1 総 括 .....	3
2 法人運営 .....	6
3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況 .....	10
(1)わかくさ愛育園の状況 .....	10
(2)自立訓練センターの状況 .....	14
(3)社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況 .....	17
(4)高次脳機能障害支援センター .....	19
4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況 .....	20
5 職員の状況 .....	22

# 平成29事業年度事業報告

## 1 総括

平成29年度は、奈良県が設置する障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理業務を受託して3期目の2年度目でありました。

当事業団では、奈良県総合リハビリテーションセンターと緊密に連携して、障害の程度が重い方や重症心身障害児(者)に対して、理学療法士などによる専門職の配置や手厚いサービスを提供するとともに、近年増加している高次脳機能障害者や発達障害児を対象とした事業を推進しました。

また、改正社会福祉法に対応するため、定款を変更して評議員会を設置するなどガバナンスの強化に取り組むとともに、予算や決算の状況等についてホームページ等において公開して透明性の向上に努め、社会福祉法人の責務とされた地域における公益的な事業へも取り組みました。

重点取組事項については、次のとおりおおむね計画どおり実施しました。

### 重点取組事項について

重点取組事項	平成29年度取組状況
(1) 重症心身障害児(者)に対する福祉サービスの充実を図るため、人工呼吸器を常時使用する重度障害児(者)に対する療育の提供やミスト浴等の入浴設備の導入などについて検討	重症心身障害児(者)に対する福祉サービスの充実を図るため、利用者の入浴サービスについてのニーズ調査を実施し、サービス提供場所、具体的な設備について検討 アンケート結果 是非利用したい・利用を前向きに考えたい6名 今後は分からないが今のところは利用しない4名 利用しないと答えた利用者は無
(2) 作業療法士(小児担当)が地域の保育所等を訪問し、発達障害児に対し感覚統合療法を用いた療育支援や、発達障害への理解を促進する研修会等に講師を派遣する「子ども地域支援事業」を積極的に展開	施設訪問事業延べ279件、研修会講師派遣事業10件合計289件を実施 作業療法及び感覚統合療法の視点で支援法や遊びの紹介などを実施

重点取組事項	平成29年度取組状況
<p>(3) 自立訓練センターにおいて、高次脳機能障害者に対して、障害の受容とその対処方法を獲得するための基礎的訓練(脳トレ)に加え、自身の職業能力の確認と、その課題解決を目的とした就労前訓練を実施し、高次脳機能障害支援センターのSST訓練と連携して利用者の就労支援等を充実・強化</p>	<p>就労に対するニーズが多いことから平成29年11月より訓練枠を拡大:4名→12名 対象利用者の職業能力の評価に留まらず自己意識を高め幅広い職業スタイルが構築できるよう支援した結果、一般就労1名、就労支援事業所への移行2名の実績を上げた 高次脳機能障害支援センターが実施するSST訓練との連携を図り、就労に必要なコミュニケーションスキルの習得を促進</p>
<p>(4) 高次脳機能障害により職場において対人関係のトラブルに悩んでいる方が多いことから、SST訓練を活用して「質問」や「頼みごと」など具体的な職場での困りごとを再現して職場に適応するためのコミュニケーションスキルの上達を図り、復職や就職、職場定着を目指す高次脳機能障害者を支援</p>	<p>SSTについて平成29年度は7回実施 職場での対人関係における悩みを持つ当事者の方に実際の就労場面を想定した対人技法トレーニングと事前・事後の評価を行い、高次脳機能障害者の職業的課題解決を促進 同時に平成28年度からのSST実績を分析し、平成29年度高次脳機能障害学会にてポスター発表を実施</p>
<p>(5) 社会就労センターにおいて、新規取引業者の開拓やより高賃金を得ることができるよう取引業者との価格交渉を行い、工賃の増収を図る</p>	<p>新規取引として、奈良県総合リハビリテーションセンターより、手洗い石けんの詰め替え業務を受注</p>
<p>(6) 介護実習・普及センターにおいて、9月23日(土)に「第2回福祉機器展in奈良2017」を開催するとともに、「第36回つながり祭」及び「第15回みんなのくるま」のイベントを共催</p>	<p>・「福祉機器展」 開催日:9/23(土) 参加者:500人、後援:16団体、福祉機器出展:24社、模擬店:10店舗 ・「つながり祭」(共催) 開催日:5/21(日) 参加者:2000人</p>
<p>(7) 飛鳥川沿いを始め、施設周囲のフェンスに設置した鉢や花壇などに花植を実施し、一年中花のある環境を実現し、地域の方々に親しんでいただける施設を目指す</p>	<p>川の彩り花つつみ事業:「飛鳥川を軸とした川辺のまちづくり」 開催日:6/16、10/13、高等養護学校、わかくさ愛育園、奈良県総合リハビリテーションセンター等の協力を得て花植を実施</p>

重点取組事項	平成29年度取組状況
<p>(8) 今年度開催される「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」へ応援事業として参加し、自立訓練等で制作した作品や高等養護学校・心身障害者福祉センター等で制作された作品を展示・発表する「障害者作品展」を開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県営福祉パークにおいて、9月23日(土)に「第32回国民文化祭・なら2017／第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」へ応援事業として「障害者作品展」を開催し、58点の出展</li> <li>わかさ愛育園において、「第32回国民文化祭・なら2017／第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の「ビッグ幡in東大寺」に児童の作品を出展</li> <li>・多神社「灯の路と大とんど」にわかさ愛育園児童・利用者の紙灯ろうを出品</li> </ul>
<p>(9) 障害福祉の社会的ニーズに応えられるよう、良質なサービスの提供、利用者の受け入れ拡大の方策を検討するとともに、それらに対応するために、築後29年を経過する施設のリニューアルの検討も併せて進める。</p>	<p>重症心身障害児(者)のニーズに対応した入浴サービスの実施や、人工呼吸器装着児(者)の受け入れを検討するとともに、休日(土曜日)営業を積極的に行い、自立訓練や社会就労を促進</p> <p>また、引き続き施設全体のリニューアルを検討し、利用環境の向上を図る。</p>

## 2 法人運営

### (1) 会議等

#### ア 理事会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成29年 5月23日	奈良県文化 会館	理事5名 監事2名	1 議決案件 (1)平成28年度事業報告 (2)平成28年度財務報告 (3)社会福祉充実計画について (4)日常の業務として理事長が専決処分できる事項について (5)平成29年度第1回評議員会の招集について 2 報告事項 理事長、副理事長、常務理事の職務執行状況について
第2回	平成29年 6月21日	奈良県庁	理事5名 監事1名	1 議決案件 理事長、副理事長及び常務理事の選定について
第3回	平成30年 3月28日	奈良県文化 会館	理事6名 監事2名	1 議決案件 (1)平成29年度資金収支補正予算について (2)平成30年度事業計画及び資金収支予算について (3)寄附取扱規程の制定について (4)奈良県障害者総合支援センター児童発達支援センター運営規程等の一部変更について 2 協議事項 奈良県障害者総合支援センター指定障害者支援施設運営規程の一部変更について 3 報告事項 理事長、副理事長、常務理事の職務執行状況について

## イ 評議員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成29年 6月8日	ホテルリガ ーレ春日野	評議員3名 理事2名 監事2名	1 報告事項 平成28年度事業報告 2 議決案件 (1)平成28年度貸借対照表、収支計算書及び 財産目録の承認について (2)社会福祉充実計画の承認について (3)理事及び監事の任期満了に伴う選任に ついて (4)社会福祉法人奈良県社会福祉事業団役 員及び評議員の報酬等並びに費用に関する 規程の制定について

## ウ 奈良県介護実習・普及センター運営委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成30年 3月8日	奈良県介護 実習・普及 センター	委員8名	1 議決案件 (1)平成29年度事業報告について (2)平成30年度事業計画について

## エ 施設部経営管理改善委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回 ～ 第11回	平成29年 4月26日 ～ 平成30年 3月29日	奈良県社会 福祉事業団 討議室	所 長 副 所 長 事務部長・課長 施設部長・次長 施設部主任	1 議決案件 (1)施設部の経営状況について (2)当面の経営改善について (3)その他

オ 奈良県障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理連絡会議

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成29年 5月30日	奈良県障害者総合支援センター	ファシリティー・マネジメント室2名 障害福祉課2名	平成28年度事業報告及び決算状況について
第2回	平成29年 11月15日	奈良県障害者総合支援センター	ファシリティー・マネジメント室2名 障害福祉課1名	1 平成29年度上半期の利用実績について 2 平成29年度重点事項の進捗状況について

(2) 広報調査事業

名称	発行時期等
ア 機関誌 (奈良県社会福祉事業団ニュースきらり)	平成29年8月10日(第15号) 平成30年3月20日(第16号)
イ ホームページ	随時更新
ウ 利用者満足度調査 ・わかくさ愛育園 ・自立訓練センター ・社会就労支援センター ・県営福祉パーク	平成30年2月1日～2月7日 平成30年2月13日～2月23日 平成30年3月16日～3月23日 見学者及び研修講座の都度



### (3) 監査

#### ア 監事監査

年月日	場所	監査事項
平成29年5月14日	奈良県障害者総合支援センター	1 平成28年度の業務執行状況について 2 平成28年度の財産状況について

#### イ 奈良県監査指導室監査

年月日	場所	監査事項
平成29年9月28日	奈良県障害者総合支援センター	1 指導監査 わかくさ愛育園(医療型・重心・福祉型) 自立訓練センター 2 実地指導 わかくさ愛育園(医療型・重心・福祉型) 自立訓練センター 社会就労センター

### 3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況

#### (1) わかくさ愛育園の状況

わかくさ愛育園は、児童福祉法に基づく「児童発達支援センター」として、母子間の心の絆をつくり、子供の心を安定させることに留意し、児童個々の必要に応じた機能回復訓練、感覚運動学習を含む基礎保育を展開し、身辺自立や社会的ルールの獲得への取り組みを進め、各児童の成長・発達を助長した。

重症心身障害児(者)関係では、療育的なかわりに加え、生活経験を豊かにすることを目標に、スポーツレクリエーション、季節の行事、音楽活動などの活動を提供した。

また、障害児相談支援事業では、障害のある子どもたちとその保護者からの相談に応じ、抱える課題の解決や適切な障害福祉サービス等の利用に向けて、情報の提供及び助言を行い、併せて市町村及び障害福祉サービス事業者等との連絡調整などを総合的に支援している。

#### ア 通園児(者)入退所状況

(単位:人)

施設別 入退状況	定員	在籍数			退所 児童数	左の内訳					3/31 在籍児 (者)数	
		前年度 引継	本年度	計		特別支援 学 校	小学校	幼稚園・保育所 並行通園の利用 無 有	他施設	その他		
医療型児童発達支援センター	60	8	7	15	6		3	3				9
児童発達支援センター(知的)	40	48	36	84	35	4	20	9	(11)	2		49
内、並行通園		25	19	44	25	2	16	7			(1)	19
児童発達支援センター(重心児)	15	12	4	16	5	4				1		11
生活介護		16		16								16
計	115	84	47	131	46	8	23	11	(11)	3		85
内、並行通園		25	19	44	24	2	16	6			(1)	20
平成28年度	115	80	49	129	45	13	18	7	1(5)	6		84
内、並行通園		22	18	40	20	1	16	3				20

※前年度引継84人中5人は並行通園に変更

イ 通園児(者)疾患別・年齢別状況

(単位:人)

区分 疾患別 年齢別	医療型児童発達支援センター						児童発達支援センター(知的)						児童発達支援センター(重心児)・生活介護						合計
	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常	その他	計	知的遅れなし	知的遅れあり				計	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常	その他	計	
								発達障害	染色体異常	病理的原因あり	その他								
1歳		1				1						0					1	1	2
2歳				1	2	3		3				3					2	2	8
3歳		1		1		2	2	3		1	1	7		1			2	3	12
4歳	1	2	1			4	2	16	2	1	2	23	1	1		1	1	4	31
5歳	2					2	2	21	1		1	25		1			1	2	29
6歳		2		1		3	3	15	5	2	1	26		3			1	4	33
小計	3	6	1	3	2	15	9	58	8	4	5	84	1	6		1	8	16	115
18～19歳																			
20～29歳													1				9	10	10
30～39歳													1				4	5	5
40歳以上													1					1	1
小計													3				13	16	16
計	3	6	1	3	2	15	9	58	8	4	5	84	4	6	0	1	21	32	131
H28	6	0	1	3	5	15	8	49	13	3	7	80	6	6	0	2	20	34	129

(注)知的遅れなし:発達障害ほか/発達障害:自閉傾向のある者を含む/染色体異常:ダウン症ほか

ウ 障害児相談支援事業の状況

(単位:件)

区分	支援計画作成件数	モニタリング実施件数
平成29年度	59	35
平成28年度	42	30

## エ 発達障害児医学的療育支援事業の状況

「子ども地域支援事業」として、発達障害あるいは発達障害の疑いのある子どもが、地域社会の中で生き生きとした生活を送るために感覚統合療法等を用いた専門的な支援を行うことを目的とし、施設訪問事業、研修会講師派遣事業を実施した。

### ○ 訪問事業・研修会講師派遣事業

区 分	施設訪問事業		研修会講師派遣事業	
	件 数	相談児童数	件 数	研修会参加者
平成29年度	279件	1,268人	10件	250人
平成28年度	291件	1,479人	18件	483人

### ○ 訪問事業の訪問先

区 分	件 数	相談児童数
小学校	53件	241人
中学校	1件	1人
特別支援学校	2件	10人
幼稚園	61件	280人
幼児園・子ども園	16件	76人
保育所(園)	82件	406人
学童保育所	20件	68人
療育教室、施設	18件	86人
デイサービス	26件	100人
計	279件	1,268人

## オ 保育所訪問支援の状況

わかくさ愛育園を利用している園児が、集団生活に適応することができるよう、当園保育士が地域の保育園等を訪問し、園児本人、保護者、保育園等スタッフに支援を行う。

### ○ 訪問先別件数

(単位:件)

訪問先	園数	件数
保育所・保育園	11	13
幼稚園	17	26
合 計	28	39

### ○ 市町村別件数

(単位:件)

訪問先市町村	園数	件数	訪問先市町村	園数	件数
大和高田市	2	2	三郷町	2	2
橿原市	2	3	川西町	2	3
五条市	2	2	田原本町	2	4
御所市	1	2	上牧町	2	4
香芝市	2	2	王寺町	1	1
宇陀市	1	1	広陵町	2	2
葛城市	6	9	大淀町	1	2
合 計				28	39

### ○ 相談・支援内容

集団生活、活動への参加状況について

- ・ 他の園児と仲良く遊べているか
- ・ 友達づくりができているか
- ・ 集団活動ができているか
- ・ 身の回りのことが自分でできているか
- ・ 先生の指示通りにできているか

サポート体制について

- ・ スタッフが園児の特性を理解しているか
- ・ 発作時等にどのように対応しているか
- ・ どのように保育での関わりをしているか

## (2) 自立訓練センターの状況

障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設として、自立訓練(機能訓練・生活訓練)及び施設入所支援を行った。

利用者が自立した地域社会を営むことができるよう、利用者の障害特性や個々のニーズに即した質の高い障害者支援サービスの提供に努めた。

また、地域での居宅生活を営む者で、主たる介護者の疾病、その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者につき、入浴・排せつ・食事等の介助及び必要な支援を行った。

### ア 日中活動サービス

#### ○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契約 解除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年度	計		就職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
自立訓練(機能)		55	29.5	44	25	69	29	2	8	1	18	40
自立訓練(生活)		20	21.8	33	20	53	18	0	1	1	16	35
計		75	51.3	77	45	122	47	0	8	2	34	75
平成28年度		75	43.5	69	48	117	40	1	8	2	29	77

#### ○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
自立訓練(機能)	41	4	5	2	17	69
自立訓練(生活)	23	0	0	18	12	53
計	64	4	5	20	29	122
平成28年度	58	5	7	23	24	117

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
自立訓練(機能)	0	2	7	19	27	14	0	69
自立訓練(生活)	0	2	6	11	20	13	1	53
計	0	4	13	30	47	27	1	122
平成28年度	0	4	15	33	37	28	0	117

イ 施設入所支援サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区 分	定 員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契 約 解 除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他 施 設	医 療 機 関	家 庭 復 帰	
平成29年度	60	35.6	33	25	58	21	1	4	1	15	37
平成28年度	60	28.8	28	16	44	11	0	3	0	8	33

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
平成29年度	44	1	2	5	6	58
平成28年度	33	1	2	2	6	44

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
平成29年度	0	0	5	16	22	15	0	58
平成28年度	0	1	4	14	17	8	0	44

## ウ 短期入所支援サービス

### ○ 指定短期入所事業の利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用者数	延べ利用日数
平成29年度	10	485
平成28年度	11	386

### ○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
平成29年度	3	3	2	2	0	10
平成28年度	3	2	1	2	3	11

## エ 計画相談事業

(単位:件)

区 分	利用計画作成件数	モニタリング実施件数
平成29年度	35	48
平成28年度	28	24



### (3) 社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況

就労することが困難な障害者に対して、その自立と社会経済活動の参加を促進するため、個別支援計画に基づき、個々の能力や特性に応じた就労支援サービスの提供に努めた。

また、一般企業からの受注を円滑にするため各関連企業との連携を密にし、利用者に対する平均工賃のアップを目指した。

なお、利用者が経済的又は体力的な要因により退所し、利用数が定員を下回ってきたため、県下関係機関宛てに利用者募集のリーフレットを郵送して増員を図った。

#### ア 利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			退 所 者 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他 施 設	医 療 機 関	家 庭 復 帰	
平成29年度		30	25.2	32	1	33	5	0	4	0	1	28
平成28年度		30	29.0	34	5	39	7	1	3	1	2	32

#### イ 年齢別・原因疾病別状況

(単位:人)

疾病別\年齢別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	計
脳性麻痺	0	0	0	0	1	0	1
脳血管障害	0	0	2	2	3	7	14
脊椎損傷	0	0	0	0	0	0	0
頭部損傷	0	0	0	4	1	0	5
知的障害	0	2	0	1	0	1	4
その他	0	0	0	1	2	1	4
計	0	2	2	8	7	9	28
平成28年度	0	3	2	11	7	9	32

ウ 工賃の状況

区 分	延べ支払対象人員数	工賃支払額	月額平均工賃
平成29年度	360人	4,545,941円	12,628円
平成28年度	413人	5,314,628円	12,868円

#### (4) 高次脳機能障害支援センター運営事業の状況

高次脳機能障害者に対する支援を総合的に行う県の拠点として、本人等からの相談に応じ適切な指導又は助言を行うとともに、関係機関等との連携強化により、高次脳機能障害者に対する総合的な支援体制の整備を推進し、高次脳障害者及びその家族の福祉の向上を図った。

##### ア 個別相談事業、検査・診断事業

(単位:件)

区 分	延べ 相談件数	左 の う ち		診 断	神経心理学 検査
		来所相談	訪問相談		
平成29年度	3,016	448	24	72	56
平成28年度	3,187	434	26	70	56

##### イ 普及・啓発事業

区 分	開催日	内 容	参加人数
高次脳機能 障害支援セ ンター主催	平成29年12月12日	高次脳機能障害研修会(家族・支援者対象) テーマ:高次脳機能障害のリハビリテーション等	93人
	平成30年2月6日	西和圏域高次脳機能障害勉強会(地域支援者対象) 高次脳機能障害～その症状と支援について	31人
講師派遣	平成29年5月30日	地域支援機関職員対象勉強会(ぽかぽか事業所職員)	10人
	平成29年6月21日	精神看護学実習生への講義(奈良市立看護専門学校学生対象)	41人
	平成29年11月13日	関西学研医療福祉学院(作業療法士学科生徒対象)	40人
家族会主催 実行委員会 協力	平成29年10月15日	奈良県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ～精神科医療からみた高次脳機能障害～	156人

#### 4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況

県営福祉パークでは、高齢者や障害者を含め訪れたすべての人が見て・触れて・体験しながら学べる場所として、公共施設モデル、多目的広場等の屋外施設や福祉住宅体験館の維持管理に努めた。

介護実習・普及センターでは、要介護者等からの各種相談に応じるとともに、介護、実習を通じて介護知識・技術の普及啓発に努めた。また、展示の福祉機器をできるだけ最新機器に更新する等の取り組みを行った。

今年度は16団体の後援を得て、「みんなで見て、触れて、試して、体験しましょう」のテーマで、第2回福祉機器展を開催し、約500名の参加者があった。

##### ア 相談事業の実施状況

区 分	件 数	相 談 者 数
平成29年度	1,298 件	1,584 人
平成28年度	1,263 件	1,523 人

##### イ 介護講座等の実施状況

講 座 名	実 施 回 数	受 講 者 数
介護体験講座	149 回	2,429 人
介護講座	8 回	187 人
高齢者向講座	8 回	169 人
福祉住宅体験館案内ボランティア育成講座	1 回	4 人
公開講座	1 回	125 人
自助具製作体験講座	12 回	30 人
福祉機器展(つながり祭)	1 回	2,000 人
夏休み親子介護体験講座	1 回	6 人
介護予防講座	5 回	96 人
(上記のうちボランティア関係分)	( 4 回)	( 65 人)
計	186 回	5,046 人
平成28年度	176 回	4,921 人

## ウ 福祉パーク・福祉住宅体験館利用状況

区 分	団 体 数	利 用 者 数
個人利用者		75,779人
団体見学	149	2,429人
計	149	78,208人
平成28年度	140	66,533人

## エ 福祉機器展の開催状況

### ○ 第2回福祉機器展

開 催 日：平成29年9月23日(土) 10:00～15:00

開催内容

- ・福祉機器展示
- ・講演会 お笑い理学療法士 日向亭 葵
- ・車いすバスケット
- ・介護食試食会
- ・大和人(ならんちゅ)
- ・ふうせんアート
- ・介護予防体操
- ・絵本コーナー
- ・自助具制作体験
- ・障害者作品展
- ・模擬店

## 5 職員の状況

### ○ 職員数

(単位:人)

		平成28年度 当初職員数	平成29年度 当初職員数	増 減	備 考
職 員		63(7)	62(7)	△1(△1)	病院機構との併任(事務部) H28:5→ H29:5
内 訳	事 務 部	8	8	0	
	施 設 部	53(7)	52(6)	△1(△1)	
	福祉パーク	2	2	0	

日々雇用職員を除く ( )は非常勤職員数(内数)